



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月8日

上場会社名 リズム時計工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7769 URL <http://www.rhythm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 笠間 達雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 奥田 伸一郎

TEL 048-643-7241

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	20,712	△0.3	880	△23.5	1,044	△15.7	397	△36.4
23年3月期第3四半期	20,770	△5.1	1,150	△5.5	1,238	△12.9	625	△29.0

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 205百万円 (85.0%) 23年3月期第3四半期 111百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	3.23	—
23年3月期第3四半期	5.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	39,511	30,418	77.0
23年3月期	36,178	30,065	83.1

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 30,418百万円 23年3月期 30,065百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
24年3月期	—	0.00	—		
24年3月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,650	8.2	1,250	3.1	1,460	6.1	830	40.8	6.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	132,178,939 株	23年3月期	132,178,939 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	6,814,890 株	23年3月期	9,477,953 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	122,964,059 株	23年3月期3Q	124,402,818 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

四半期決算補足説明資料は同日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災からの復興に向けた政府の補正予算が成立し、消費マインドも一部で回復の兆しが見られますが、震災を契機としたサプライチェーンの見直し、電力不足や円高、新興国の技術力やコスト競争力アップ等を背景とした生産の海外移転など厳しい状況が続いております。また、欧州の金融危機が金融資本市場のみならず実態経済にも影響を及ぼしており、海外景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクが存在します。

このような状況のなか、当社グループは、収益基盤の強化とともに売上高の拡大に取り組んでおります。平成23年11月30日付で協伸工業株式会社および同社子会社2社を完全子会社化することにより、時計事業、電子事業、プレジジョン事業に続く新たな事業分野として接続端子事業を当社グループ内に取り込み、収益および事業領域の拡大に努めております。時計事業は、平均単価は下落しましたが販売数量の伸びでカバーし、海外販売や非クロック製品の売上拡大とあわせ増収となり、収益改善策や円高の効果、増収の影響などにより増益となりました。電子事業は、情報機器分野および自動車機器（カークロック）分野の不振により、プレジジョン事業は、震災及びタイの洪水等の影響により減収、減益となりました。

以上のことから、当社グループの第3四半期連結累計期間の売上高は207億12百万円となり前年同期207億70百万円に対し0.3%の減収となりました。営業利益は、8億80百万円となり、前年同期11億50百万円に対し23.5%の減益となりました。経常利益は、10億44百万円となり、前年同期12億38百万円に対し15.7%の減益となりました。これらに、保険解約返戻金1億36百万円、投資有価証券評価損2億6百万円を計上するなどした結果、当第3四半期連結累計期間の四半期純利益は、3億97百万円となり、前年同期6億25百万円に対し36.4%の減益となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

①時計事業

時計事業の国内販売は、震災後厳しい販売状況が続く、平均単価の下落を販売量増加で補う一方で、行政防災ラジオや節電のための室温管理用として時計の表示技術を用いた温湿度計の販売が好調に推移し、また、今期発売しました新商品も好評を得ております。海外販売は、北米では新規顧客開拓などにより、その他の地域においても現地代理店と販売プロモーションを実施するなど積極的な販売活動を行い、前年を上回る売上高となりました。

この結果、時計事業全体としては、増収となりました。利益の面におきましては、増収効果、原価の改善、販売コストの削減など継続的に推進しております収益改善策および円高の影響などにより、営業利益は前年同期に比べ増益となりました。

以上のことから、時計事業の当第3四半期累計期間の売上高は90億83百万円となり、前年同期87億14百万円に対し4.2%の増収となりました。営業利益は8億98百万円となり、前年同期5億73百万円に対し56.5%の大幅な増益となりました。

②電子事業

電子事業におきましては、顧客企業に積極的に企画提案を実施し、業容の拡大に努めてまいりました。インターネットや携帯電話等のネットワークに対応した画像伝送装置（監視カメラ）等新商品の開発にも努めておりますが、震災の影響による情報機器分野および自動車機器（カークロック）分野の不振により前年同期に比べ減収、減益となりました。

以上のことから、電子事業の第3四半期累計期間の売上高は57億4百万円となり、前年60億86百万円に対し6.3%の減収となりました。営業利益は1億2百万円となり、前年同期2億31百万円に対し55.9%の減益となりました。

③プレジジョン事業

プレジジョン事業におきましては、新規顧客開拓、顧客企業に対し積極的に企画提案を実施し、また、ベトナムにおいて金型の生産を開始するなど事業の拡大に努めておりますが、価格競争の激化と震災、タイの洪水、為替の影響等による取引先の海外展開による部品組立の受注減、操業度低下の影響により、前年同期に比べ減収、減益となりました。

以上のことから、プレジジョン事業の当第3四半期累計期間の売上高は41億64百万円となり、前年同期54億39百万円に対し23.4%の減収となりました。営業利益は、減収の影響で58百万円の損失となり、前年同期4億30百万円に対し4億89百万円の減益となりました。

④接続端子事業

接続端子等の製造・販売を営む協伸工業株式会社の株式を取得し、同社及びその子会社KYOSHIN VIETNAM CO., LTD.・KYOSHIN INDUSTRY ASIA PTE LTDを連結の範囲に含めたことに伴い、接続端子事業が加わりました。みなし取得日を平成23年9月30日としており、当第3四半期連結会計期間より損益計算書を連結しております。

接続端子事業は、国内テレビメーカーの生産数量の激減やHV車の製造が震災とタイ洪水による生産調整の影響、更に取り先の海外移転等による受注減少などにより売上は当初計画より1割程度遅れております。利益の面におきましては、受注減による操業度低下等の影響により当初計画に対し大幅な遅れとなっております。

以上のことから、接続端子事業の当第3四半期累計期間の売上高は12億28百万円、営業利益は、86百万円となりました。（当第3四半期から連結したため、損益の前年比較はいたしません。）

⑤その他

物流事業、介護事業等その他の事業におきましては、当第3四半期連結累計期間の売上高は5億31百万円となり、前年同期5億29百万円に対し0.3%の増収となりました。営業利益は、45百万円で前年同期37百万円に対し19.6%の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

総資産は395億11百万円となり、前連結会計年度末361億78百万円に比べて33億32百万円増加しました。流動資産は、受取手形及び売掛金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ13億78百万円増加しました。固定資産は、のれんの発生などにより、前連結会計年度末に比べ19億54百万円増加しました。

(負債)

負債合計は90億92百万円となり、前連結会計年度末61億13百万円に比べ29億79百万円増加しました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ26億79百万円増加しました。固定負債は、前連結会計年度末に比べ3億円増加しました。

(純資産)

純資産合計は304億18百万円となりました。前連結会計年度末に比べ、利益剰余金の増加等により、3億53百万円増加しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年7月29日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,534	5,964
受取手形及び売掛金	7,325	8,390
有価証券	4,800	3,200
たな卸資産	5,535	6,280
その他	682	1,420
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	23,875	25,253
固定資産		
有形固定資産	4,582	5,482
無形固定資産		
のれん	—	1,679
その他	776	895
無形固定資産合計	776	2,574
投資その他の資産		
投資有価証券	5,203	4,315
その他	1,876	2,022
貸倒引当金	△135	△136
投資その他の資産合計	6,945	6,200
固定資産合計	12,303	14,257
資産合計	36,178	39,511
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,990	4,068
短期借入金	—	1,000
未払法人税等	332	400
賞与引当金	159	108
災害損失引当金	86	9
その他	1,268	1,928
流動負債合計	4,836	7,516
固定負債		
退職給付引当金	196	529
役員退職慰労引当金	4	28
音楽著作権損害賠償損失引当金	88	82
その他	987	936
固定負債合計	1,276	1,576
負債合計	6,113	9,092

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,372	12,372
資本剰余金	16,047	15,951
利益剰余金	3,150	3,303
自己株式	△1,455	△950
株主資本合計	30,115	30,676
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	318	187
為替換算調整勘定	△368	△445
その他の包括利益累計額合計	△50	△258
純資産合計	30,065	30,418
負債純資産合計	36,178	39,511

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	20,770	20,712
売上原価	15,159	15,110
売上総利益	5,610	5,602
販売費及び一般管理費	4,460	4,721
営業利益	1,150	880
営業外収益		
受取利息	31	28
受取配当金	89	104
受取賃貸料	167	164
信託収入	148	140
その他	31	47
営業外収益合計	468	484
営業外費用		
支払利息	8	15
賃貸費用	74	61
出向費用	53	45
信託費用	50	48
為替差損	143	109
その他	49	38
営業外費用合計	380	320
経常利益	1,238	1,044
特別利益		
固定資産売却益	42	2
投資有価証券売却益	111	—
保険解約返戻金	—	136
その他	26	—
特別利益合計	179	139
特別損失		
固定資産処分損	27	14
投資有価証券評価損	154	206
PCB処理費用	57	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	80	—
その他	4	2
特別損失合計	323	223
税金等調整前四半期純利益	1,094	960
法人税、住民税及び事業税	334	473
法人税等調整額	135	76
法人税等合計	469	550
少数株主損益調整前四半期純利益	625	409
少数株主利益	—	12
四半期純利益	625	397

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	625	409
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△336	△130
為替換算調整勘定	△177	△74
その他の包括利益合計	△513	△204
四半期包括利益	111	205
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	111	189
少数株主に係る四半期包括利益	—	15

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	時計事業	電子事業	プレジジョン事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,714	6,086	5,439	20,240	529	20,770
セグメント間の内部売上高又は振替高	19	311	436	767	822	1,590
計	8,733	6,398	5,876	21,007	1,352	22,360
セグメント利益	573	231	430	1,236	37	1,273

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業及び介護事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,236
「その他」の区分の利益	37
セグメント間取引消去	21
全社費用(注)	△140
棚卸資産の調整額	△4
四半期連結損益計算書の営業利益	1,150

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	時計事業	電子事業	プレシジョン事業	接続端子事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,083	5,704	4,164	1,228	20,181	531	20,712
セグメント間の内部売上高又は振替高	28	320	373	—	722	786	1,509
計	9,111	6,025	4,538	1,228	20,904	1,318	22,222
セグメント利益又は損失（△）	898	102	△58	86	1,028	45	1,073

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業及び介護事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,028
「その他」の区分の利益	45
セグメント間取引消去	19
全社費用（注）	△172
棚卸資産の調整額	△40
四半期連結損益計算書の営業利益	880

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、当社は協伸工業株式会社の株式取得及び株式交換を行い、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては1,679百万円であります。なお、当該事象によるのれんの増加額は、「接続端子事業」セグメントより発生しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。